

未来の保育士を目指す学生のための就職説明会 東京未来大学が『実習および就職フェア』を開催 ～足立区認可保育園28法人・49園が参加し、園の魅力を発信～

学校法人 三幸学園が運営する東京未来大学 (本部：東京都足立区、理事長：昼間一彦、学長：角山剛、以下本学) は、2018年10月3日 (水) に、本学と足立区民間保育園連合会の主催で、足立区内の保育園や保育実習の特徴などを学生に伝える場として『実習および就職フェア』を開催いたしました。



昨今、保活支援や待機児童対策により保育施設が増える一方で、保育士不足が課題になっています。国の試算によると、現在不足している保育士人数は6.9万人※といわれており、保育園は保育士の確保に困難を極めています。

足立区は、奨学金を利用して保育士資格を取得した区内の私立保育施設に勤務する保育士を対象に、奨学金返済の補助を行う「保育士奨学金支援事業補助金」制度や、保育事業者が借り上げた区内住居に常勤保育士が居住した場合に、保育事業者に補助を行う「保育士等住居借上げ支援事業補助金」制度など、保育士・保育事業者ともに支援する制度を整えています。

※厚生労働省「保育士確保プラン」出典

本イベントは本学のこども心理学部 こども心理学科 こども保育・教育専攻の1年生～4年生を対象にしています。学生が足立区内の認可保育園を知る場としてだけでなく、安心して実習先やボランティア先、就職先を選定する機会を提供するために2016年より開催しています。本年度は足立区内の認可保育園28法人・49園に規模を拡大し、実習や就職に向けてのフェアを実施し、171名の学生が参加しました。

当日は、それぞれの保育園に工夫を凝らした説明会を実施いただき、ブースごとに笑い声が聞こえるなど活気のある説明会となりました。また、本学の卒業生である保育士が現役学生に職場について説明する姿も見られました。また、参加した本学の4年生は、「色々な園のお話を直接聞き、先生の雰囲気や園の雰囲気などを肌で感じることができるため、就職後が具体的にイメージ出来ます。自分自身の保育観も知ることが出来るので、就職活動に役に立っています。」と話していました。

本学は、学生の実習や授業、就職活動の悩みを相談できる場として、保育・教職センターを常設し、保育士を目指しやすい環境を整えています。

昨年は本イベントの実施により、例年に比べて足立区内の保育園に就職する学生が増加しました。今後も、本学は学生にとって一番適した就職先を知る機会を提供するとともに、保育士不足の問題に向き合っていまいります。

◆東京未来大学とは

学長 : 角山剛
設立年度 : 2007年
本部 : 東京都足立区
学部 学科 (専攻) : こども心理学部 こども心理学科 (こども保育・教育専攻、心理専攻)
モチベーション行動科学部 モチベーション行動科学科
学生数 : 1387名 (2018年5月現在)

本学は社会が求める“人財”を育てることを使命とし、社会に出るための準備期間として社会で働くうえで必要なマナーや仕事への取り組み方、姿勢、そして働くことの価値や喜びを4年間伝え続けています。そのため、入学前から、在学中、卒業後まで一貫してサポートする総合的な学生支援体制である『エンロールメント・マネジメント』を取り入れています。学生の様々な悩みや不安、希望、要望などをどのようにサポートできるか徹底して考え、実行に移し、学生の抱える問題に向き合っています。本学独自のキャンパスアドバイザー (CA)、クラス担任、専門科目の教員の3方向から、学生をサポートし、学習面だけでなく、進路・生活面の相談までをフォローしています。

◆三幸学園とは

1985年3月設立、「技能と心の調和」を教育理念とした実践教育を行う学校法人です。全国12都市に「医療・介護」「健康」「美容」「保育」「ブライダル」「製菓」「調理・栄養」「語学」「看護」「観光」などをテーマとした、61の専門学校・1大学・1短期大学・2高等学校、保育施設を展開しており、12万人以上の卒業生を送り出してまいりました。「生徒の幸せ」「社会の幸せ」「学園の幸せ」の3つの幸せを経営理念とし、「三幸」の学園名に願いを込めております。「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」ことをビジョンに掲げ、日々の事業活動を行います。

